

令和2年 第1回弟子屈町定例教育委員会会議録

- 1 日時：令和2年1月29日（水）午前10時00分から午前10時55分まで
- 2 会場：弟子屈町公民館 研修室
- 3 出席委員
小林教育長、榎本職務代理者、菅原委員、金井委員、吉田委員
出席事務局
岩原管理課長（兼給食センター所長）・山口管理課長補佐・辻川指導室長
藤森社会教育課長・川井田社会教育課長補佐・山本給食センター副所長
- 4 会議録署名委員：菅原委員
前回署名：榎本教育長職務代理者
- 5 傍聴人 なし

議事日程

令和 2年 1月29日

日 程	議案番号	議 件
1		会議録署名委員の指名について
2		会期の決定について
3		教育長行政報告について
4	議案第 1号	教育委員会職員の任免について

会議内容

【開 会】

岩原課長 :ただ今より、令和2年第1回定例教育委員会を、開会いたします。開会にあたり、小林教育長より、ごあいさつ申し上げます。

小林教育長 :おはようございます。1月の1回目の定例教育委員会ということですので、改めまして、明けましておめでとうございます。今年も、どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

私ごとであります。2月5日をもって、教育長を退任することとなりました。最後の教育委員会の会議となりますので、よろしくお願い申し上げます。それでは、只今から、令和2年第1回定例教育委員会を、開会いたします。

日程1、会議録署名委員の指名につきましては、菅原委員に、お願いしたいと思っております。

前回の12月定例委員会での、会議録の承認につきましては、榎本教育長職務代理者に、お願いしたいと思っておりますが、よろしいでしょうか？

各委員 :はい。

小林教育長 :それでは、そのように、取り計らいたいと思っております。

日程2、会期の決定ですが、会期につきましては、本日1日限りと、致したいと思っておりますが、これに、ご異議ございませんか？

各委員 :はい。

小林教育長 :異議なしということで、会期は、本日1日限りと、致します。

日程3、教育長行政報告につきましては、私の方から、説明いたしますので、お手元の資料を、見て頂きたいと思っております。

【行政報告件名】

12月24日～1月12日 公民館ロビー展「成人式写真展」

12月25日 令和元年度第1回弟子屈町総合教育会議

令和元年度第2回弟子屈町英語科授業実践研修会

12月30日 令和元年度町営スピードスケート場オープン

1月1日～4日 第96回東京箱根間往復大学駅伝競走応援

1月6日～17日 弟子屈小学校床暖房稼働実験

1月6日 釧路教育局年始挨拶

1月7日～10日 姉妹都市鹿児島県日置市弟子屈中学生訪問事業

1月8日 冬休み子ども映画祭

1月9日 「冬休み正月を楽しもう」餅つき&カルタ大会

1月10日 令和2年弟子屈町文化協会新年交礼会

1月11日～12日 令和元年度ウインタースポーツ教室（スケート）

1月12日 第72回弟子屈町成人式

- 1月15日～31日 公民館ロビー展「令和2年香墨弟子屈習字勉強会書初め作品展」
- 1月15日 令和元年度期限付教職員退職辞令交付
弟子屈町公営塾「テレビ北海道」取材
令和元年度釧路管内特別支援教育支援員研修会
令和元年度釧路管内市町村教育委員会教育委員研修会
- 1月17日 令和元年度弟子屈町公営塾協議
- 1月18日 第46回釧路地区アンサンブル・管楽器個人コンクール
- 1月20日 令和元年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果公表
- 1月20日 弟子屈町民大学校生きがい講座川湯学級 新年交流会
- 1月20日 アイヌ政策推進交付金に係る懇談会
- 1月21日 令和元年度第10回弟子屈町公立学校校長連携会議
GIGAスクール構想に係る市町村説明会
令和元年度児童生徒読書感想文コンクール第2回実行委員会
令和元年度釧路校長会理事・釧路管内町村教育長懇談会
- 1月22日 第2回アイヌ文化等振興事業計画策定町民委員会
- 1月23日 令和2年第1回弟子屈町議会臨時会
弟子屈町議会全員協議会
全道フットサル選手権大会2020 U-12の部 出場挨拶
第42回全道ジュニアオリンピック春季水泳競技大会北海道予選会出場挨拶
令和元年度全国中学校体育大会 第40回全国中学校スケート大会出場挨拶
令和元年度第6回中心市街地再構築全体構想町民会議
- 1月24日～2月7日 令和元年度児童生徒作品展覧会
公民館ロビー展「絵手紙摩周湖年賀状展」
- 1月26日 I&Mバトンスタジオ発表会「ALOHA」
- 1月27日 令和元年度第2回釧路管内学校における働き方改革推進会議

【質疑応答】

- 小林教育長：以上、掻い摘んで説明させて頂きましたが、何かあれば、ご意見をお聞かせ願いたいと思います。何かございますか？
- 吉田委員：奥春別小学校の統合の件ですが、今回議会の方に説明したということですが、知人の子どもで特別支援学級に在籍する児童が、再来年度から弟子屈小学校へ通学することに、保護者からちょっと不安があると話を聞いて、今まで障がいのある子のバス通について、今までどうだったのか、これからどうするのか伺いたいのですが。
- 山口補佐：特別支援学級に在籍する子どものバス通について、以前、美留和小学校で難聴の子どもがいましたが、親の意向で出来るだけ歩かせたいとのことでしたが、冬の間バスに乗車したことがありました。和琴小学校で特別支援学級に在籍している児童がいますが、徒歩で国道の歩道を通っている子がいます。

今回の奥春別小学校の子について、教育委員会へ直接要望等はありませんでしたが、保護者もPTAの集まりの中で弟子屈小学校への統合自体には賛同されているということですが、当然バスの乗り降りや弟子屈小学校に着いたときの下車等について、これから具体的に話をしていかなければならないと考えております。

小林教育長：休憩します。

小林教育長：再開します。

他にありませんか？

榎本委員：義務教育学校が増えている背景と、メリットはどのようなことがありますか？

小林教育長：釧路校長会との懇談会の中で、メリットとデメリットについて、話が出ていました。資料があれば、お渡ししたいと思います。中学校の先生が小学校の授業を教えることができ、例えば小学校に英語の専門の先生がいなくても、中学校の英語の先生が小学生に教えることができるし、小学校の理科の実験でも中学校の先生が上手にできるということで教えることができます。また、9年間で子供を育てるという認識が保護者にも受け入れられている点もあります。それから、中学校に入学する際の「中1ギャップ」も解消されるということなので、メリットの方が多いかと。デメリットも少なくないという話がありましたが、一長一短があるのかなと思っています。私としては、弟子屈町内では、川湯小と川湯中が良いかなと思っていますが、今後、検討して、視察をした方がよいと思います。白糠町の庶路義務教育学校を見て、どのような教育をしているのか、あるいは機会があれば先方から来てもらい、校長等に説明を受けてもらうこともあるかと思っています。ぜひそのような企画をしてもらえればと思います。よろしいでしょうか？

榎本委員：はい。

菅原委員：義務教育学校は、各市町村教育委員会の判断でできるのでしょうか？教育局から、「このようにしては？」との指示ですか？

小林教育長：学校教育法が変わって、市町村でできるようになりました。規則を作ればできます。非常にスリムな制度になっていると聞いております。今、かなり受け入れやすい学校形態になっております。

よろしいでしょうか？ほかにありませんか？何かあれば、またお話しして頂ければと思います。

小林教育長：日程4 議案第1号「教育委員会職員の任免について」を、議題と致します。

本件につきましては、「事務局の職員の人事に関すること。」でありますので、「弟子屈町教育委員会会議規則第15条」により、秘密会と致します。

また、今現在、傍聴の方はいませんけれども、審議中に傍聴希望者が来た場合についても、退席して頂くこととなりますので、そのようにしたいと思いますが、よろしいでしょうか？

各委員 : はい。

小林教育長 : 併せまして、本議案の当事者となる岩原管理課長、山口管理課長補佐、山本学校給食センター副所長は、この議題の審議中は、一時退席をお願いします。休憩します。

【非公開案件】

小林教育長 : 再開します。

それでは、議案第1号「教育委員会職員の任免について」を承認致します。

これで、本日子定していた議案等は、全て終了しましたが、他に協議しておきたい事項や連絡などが、ありましたら、お願いします。

休憩します。

小林教育長 : 再開します。

教育長行政報告で少し触れましたが、辻川室長から、全国体力調査の概要について、説明させていただきます。

辻川室長 : はい。よろしくお願い申し上げます。先ほど、教育長からの行政報告の18ページに載っておりましたが、全国体力・運動能力・運動習慣等調査については、全国の小学校の5年生と中学校の2年生を対象として行われております。先日結果が届きまして、2月の定例教育委員会の中で、傾向や今後の対応について説明したいと思いますが、今日は概要ということで口頭での説明とさせていただきます。

弟子屈町の結果は、小学校5年生男子は全国全道並み、5年生女子は全国全道を上回っております。これは何を基準にするかといいますと、項目が多いので体力の総合点を基準として、全国並みとか上回っているかにはしております。中学校2年生の男女は、全国全道の平均を下回っております。しかし、これは体力の総合点ですので、種目については、例えば握力・上体起こし・ハンドボール投げ等は上回っており、また共通で、持久走またはシャトルランについては、残念ながら全国全道を下回っていることがわかりました。

運動機会が少なくなっていることが原因となっているかと思っております。今後、詳細に資料等を見て考えますが、今のところ、学校・家庭・社会教育等と連携を取りながら、運動する機会を提供していきたいと考えております。また来月詳しく説明させていただきます。以上です。

小林教育長 : はい、ありがとうございました。何かありますか？

また詳しいデータが出るということなので、よろしくお願いしたいと思います。

岩原課長 : 教育行政方針につきまして、3月定例議会に向けて、現在作成中ですが、2月12日頃に各委員へお配り、目を通して頂いて、ご意見を頂戴する時間を3日ほど考えておりますので、よろしくお願い致します。

それから、学校給食費の値上げを検討しておりまして、最終的には給食センター運営委員会という諮問機関で議論して頂いて、2月の教育委員会で決定して頂くということで準備しております。当初予算の関係で、値上げ相当分を町費補助金でもらえないかという要望をしておりますが、それが確定するのが2月4日です。値上げ相当額が150万円と考えており、10万食ですので、1食当り15円程度の値上げを想定しておりますが、町から150万円が今までの補助金にプラスされれば値上げしなくてもよいこととなります。補助金がなければ運営委員会で議論して、2月の教育委員会で最終決定したいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。以上です。

小林教育長：よろしいでしょうか？

各委員：はい。

小林教育長：よろしければ、最後に、次回以降の教育委員会開催日時につきまして、確認させて頂きます。

お手元に、今年の定例教育委員会の開催日程一覧表をお配りしておりますが、次回の「第2回定例教育委員会」の開催日程につきましては、前回の定例教育委員会で、2月26日（水曜日）午前10時から、公民館研修室で開催することで、了承を頂いておりましたが、都合により、27日（木曜日）ということで、お願いしたいと思っております。よろしいでしょうか？27日に変更したいということです。

菅原委員：26日から変更ですか？別の会議が入ってしまいました。議案は結構ありますか？

山口補佐：26日は、山本副所長が不在のため、27日に変更ということで、皆さんへお知らせしていたところでした。給食費関係の議案等があります。

菅原委員：日程調整できなければ、前段の教育長行政報告で、途中退席させて頂こうかと思っております。

小林教育長：調整出来れば、別の日としますが、調整できなければ、菅原委員へ給食費等の議案の説明をして、ご意見を頂いて、当日皆さんへ報告するというようにしたいと思っております。

その次の、第3回定例教育委員会につきましては、3月26日（木曜日）午前10時から、公民館研修室で予定しておりますが、25日の夜に、釧路で「小中学校退職校長・教頭激励会」が行われるということで、教育長と榎本委員が宿泊となりますので、3月は、予備日の27日（金曜日）に開催したいと思っておりますが、いかがでしょうか？

それから、例年同様に、教職員人事の任免に関する臨時委員会を3月上旬に、行うこととなります。今のところ、5日になる見込みで、議会の関係がありますので、午後4時以降の開催を考えておりますので、決まりましたら、改めて案内することとなります。これは、教育委員会で任命について議案として決定しないと、内示できないということで、大事な会議ですが、議会中ですので、夕方の開催となりますので、ご理解願います。

ここまでよろしいでしょうか？

小林教育長：それでは、私にとって最後の教育委員会でありますので、お礼を述べさせていただきますので、お聞き願いたいと思います。

この度の、任期満了による退任に当たりまして、一言お礼を述べさせていただきます。4期、15年間に渡り、教育行政を担当させて頂き、教育委員会委員の皆さんと共に、子ども達をはじめ、多くの方々から、感動や勇気、喜びを肌で感じることが出来ましたこと、本当に嬉しく思っております。それも、一重に、教育委員会委員の皆さんをはじめ、教育委員会事務局職員の皆さん、多くの学校教職員や社会教育関係者の皆さん、町民の皆さんをはじめ、出合った大勢の方々等、多くの皆さんから心温まる、ご指導とご支援の支えがあって、今日、この日を迎えることが出来ました。心から感謝申し上げる次第でございます。誠にありがとうございました。

この間、「教育基本法」の改正を始め、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正、「学校教育法」の改正等、更には、「弟子屈町教育推進基本計画」の策定、「学校施設の耐震化」、「弟子屈高等学校の存続問題」、「弟子屈中学校及び学校給食センターの全面改築」、「小規模校の閉校」、「教育委員会議事録の公開」、「学校運営協議会の設置」、「学校における働き方改革プランの策定」、「教育コラム」や「教育長の日記」の発行等々、「教育環境」が大きな変革の時代の真っ只中を過ごさせて頂く中で、特に、小野委員の死去、長年委員長を務められた小澤委員長の退任や、藤原委員の退任などにより、心が折れそうになった事も沢山ありましたが、教育委員の皆さんや職員の皆さんの強い支えがあって、「弟子屈町の子ども達の健やかな成長を願い」ながら、「ふるさとを担う子ども達の幼保小中高等学校の連携」、「文化・スポーツの振興」、「教育環境の整備」等を基調に取り組むことが出来ました。

しかしながら、積み残した事も沢山あり、また、課題も山積している状況にあり、今更ながら、力不足だったと、深く反省しているところであります。

少子高齢化・人口減少社会にあって、「教育の現状」は今後とも、幾多の試練が待ち受けていることと思いますが、それを乗り越えて行くためには、何といっても「我が町の更なる発展は必須であり、その発展は、正に教育・文化・スポーツの振興に直結している」と考えておりますので、今後とも、町民の一致協力は勿論のこと、「教育委員会」が一丸となって、更なる弟子屈町の発展と教育の振興に向けて邁進して頂きますよう、心から切望しているところであります。

また、後任の岩原新教育長に対しましては、皆様方からの心温まる、ご支援とご協力を賜りますよう、併せて、よろしくお願い申し上げます、次第であります。行政職通算47年間の勤務となりましたが、一重に、歴代の教育委員会委員の皆様をはじめ、歴代の町理事者や町議会議員の皆様、更には、先輩・同僚・後輩

の職員の皆さん等から頂いた、ご厚情を忘れることなく、そして、多くの貴重な経験を活かしながら、今後は、一町民として、第3の人生を歩んでいきたいと思っております。

結びになりますが、教育委員の皆様方におかれましては、くれぐれも健康には充分留意され、さらなる飛躍と、今後とも益々のご健勝で、ご活躍されますことをお祈り申し上げ、退任に当たってのお礼の挨拶に、変えさせていただきます。

長い間、大変お世話になりました。ありがとうございました。

小林教育長：岩原課長から、一言お願いします。

岩原課長：はい。正式には、2月6日からとなりますが、先般の町議会臨時会で同意を頂きました。行政職42年間と長いのですが、小林教育長が15年間教育長として教育行政を引っ張って来られたことで、そのあとを受けるというプレッシャーがあります。しかし小林教育長が作ってきたことを引き継ぎ、その次の時代に引き継ぐため、中間役という気持ちでやっていきたいと思っております。委員さんは皆さんベテランですので、色んな意見を頂きながら職員と一緒に頑張っていきたいと思っております。また、改めて2月の定例教育委員会の際に、ご挨拶させていただきますと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

小林教育長：それでは、以上をもちまして、本日の会議「令和2年第1回定例教育委員会」を閉会いたします。

上記会議の次第は、書記の記載したものであるが、その内容は正確であることを証するため、ここに署名する。

弟子屈町教育委員会 教育長 小林 俊夫

弟子屈町教育委員会 委員 菅原 誓之